

## 府立産業開発研究所による 大阪経済の見通し(18年度成長率予測)

大阪府立産業開発研究所では、この度「大阪経済の見通し(18年度成長率予測)」を試算しました。これは、従来から当研究所が行ってきた「足元の景気動向の把握」に加え、短期的な将来について、大阪府ベースでの予測結果を提供することで、施策立案や企業活動の参考に資することを目的としたものです。

見通しの方法としては、様々な経済変数間の関係を描写した「大阪府マクロ計量モデル」を構築し、政府や民間シンクタンクによる全国ベースでの経済見通し結果も参考に、前提条件となる諸変数の値を設定することで、モデルからの予測値を得ました。予測結果の概要は以下の通りです。

平成18年度の大阪府の実質経済成長率(実質GDE前年度比)は、プラス2.6%程度と見込まれる。なお全国については、政府経済見通し(2006.1.20閣議決定)で同1.9%程度と見通されている。

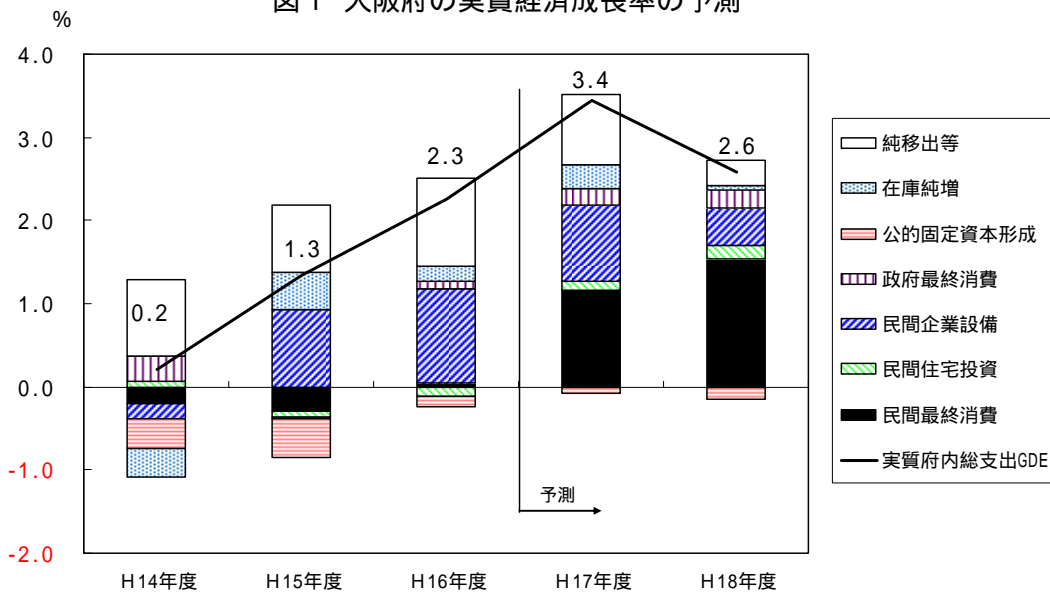
大阪府ベースの見通し2.6%成長について、内訳の需要項目別に寄与度をみると(表1)、民間最終消費が1.5%ポイント、民間企業設備投資が0.5%ポイント、また輸出や移出などの府外需要が0.3%ポイント、それぞれ成長率を押し上げる。

構成比の大きい民間最終消費は、前年度比3.4%と堅調な伸び。

これまで好調であった民間企業設備投資は、17年度5.9%増、18年度2.9%増と、伸び率が鈍化することが予想される。

マイナスに寄与する項目としては、公的固定資本形成(公共投資)で減少傾向が続く。

図1 大阪府の実質経済成長率の予測



注: H14、15年度は確報、16年度は早期推計。いずれも大阪府統計課『府民経済計算』。  
 H17、18年度は産業開発研究所による予測(2006.3時点)。

( ) 今回の予測結果は、平成18年3月時点のものであり、前提とした諸条件の変化によって、今後変更されていく性格のものであります。また、この予測結果は、大阪府立産業開発研究所の研究成果として公表する試算的な数値であり、大阪府の公式統計としての数値は、大阪府統計課が公表する『大阪府民経済計算』をご参照ください。

なお、今回の試算に当たっては『大阪府民経済計算』の平成16年度早期推計値(昨年11月公表)を用いましたが、『大阪府民経済計算』の平成16年度確報値は今年7月頃に公表される予定です。

表1 「大阪府経済の成長率予測」結果要約表

大阪府経済の予測 バックデータ	H14年度 2002年度 実績	H15年度 2003年度 実績	H16年度 2004年度 早期推計	H17年度 2005年度 予測	H18年度 2006年度 予測
<b>&lt;実額(億円)&gt;</b>					
実質府内総支出GDE	400,297	405,644	414,838	429,089	440,145
1 民間最終消費	193,746	192,589	192,803	197,611	204,233
2 民間住宅投資	13,456	13,144	12,654	13,133	13,817
3 民間企業設備	55,583	59,296	63,891	67,645	69,594
4 政府最終消費	60,118	60,041	60,372	61,210	62,070
5 公的固定資本形成	12,780	10,939	10,470	10,118	9,495
6 在庫純増	-1,404	364	1,068	2,277	2,529
(*)7 純移出等	66,020	69,272	73,580	77,095	78,406
<b>&lt;成長率(%)&gt;</b>					
実質府内総支出GDE	0.2	1.3	2.3	3.4	2.6
1 民間最終消費	-0.4	-0.6	0.1	2.5	3.4
2 民間住宅投資	1.7	-2.3	-3.7	3.8	5.2
3 民間企業設備	-1.2	6.7	7.8	5.9	2.9
4 政府最終消費	2.2	-0.1	0.6	1.4	1.4
5 公的固定資本形成	-10.3	-14.4	-4.3	-3.4	-6.2
6 在庫純増	-3,486.0	125.9	193.2	113.3	11.1
(*)7 純移出等	5.8	4.9	6.2	4.8	1.7
名目府内総支出GDE	-1.0	0.1	0.5	2.8	1.8
府GDEデフレーター	-1.2	-1.2	-1.7	-0.6	-0.8
<b>(国:政府経済見通し)</b>					
実質国内総支出GDE	1.1	2.3	1.7	2.7	1.9
<b>&lt;寄与度(%ポイント)&gt;</b>					
実質府内総支出GDE	0.2	1.3	2.3	3.4	2.6
1 民間最終消費	-0.2	-0.3	0.1	1.2	1.5
2 民間住宅投資	0.1	-0.1	-0.1	0.1	0.2
3 民間企業設備	-0.2	0.9	1.1	0.9	0.5
4 政府最終消費	0.3	-0.0	0.1	0.2	0.2
5 公的固定資本形成	-0.4	-0.5	-0.1	-0.1	-0.1
6 在庫純増	-0.3	0.4	0.2	0.3	0.1
(*)7 純移出等	0.9	0.8	1.1	0.8	0.3

注: H17、18年度は産業開発研究所による予測値。公式統計ではない。

H14、15年度は確報、H16年度は早期推計。いずれも大阪府統計課による公式統計。

(\*)「7 純移出等」= 移出 + 輸出 - 移入 - 輸入 + 統計上の不突合

平成15年度の対GDE構成比(%)は、移出(52)、輸出(8)、-移入(-37)、-輸入(-5)、不突合(0)